

『いま私たちが 職場体験にくる中学生に伝えたいこと』に関するアンケート
アンケート結果のポイント

ポイント1 職場体験は、何を伝える機会に…？

「しごとの内容」＋「福祉の魅力」 ⇒72.1%
「しごとの内容」だけ ⇒23.9%

ただし、自由記述には、魅力だけでなく「働いていて大変なことも」という指摘もありました。

ポイント2 職場体験の受入れにあたって困っていることは…？

困っていること（主な回答）

- (1) ふり返りで意見を引き出すことが難しい。
- (2) 相談援助の仕事の体験が難しく、よいイメージを持ち帰りにくい。
- (3) 楽しい体験だけでなく、かえってイメージの伝わり方が逆効果や偏見になることもありうる。
- (4) 朝の様子など体験してもらいたいことが時間帯としてできないことがある。
- (5) 意欲的に体験に来ている生徒、仕方なく来ている生徒がいる。
- (6) 中学生が何をやってみたいかわからない。
- (7) 実際に行なってもらうことが難しい介助は見学にとどまってしまう。
- (8) 福祉の魅力が伝わったかどうかの手ごたえがわからない。終了後の本音が聞きたい。
- (9) 同世代の児童が入所している児童施設では、中学生の受入れが難しい。

ポイント3 職場体験の受入れにあたって取組んでみたいこと…？

取組んでみたいこと（主な回答）

- (1) 中学生と利用者、支援者との座談会をやってみたい。
- (2) 中学生なりに得意なことを活動の中で活かしてみることができないか。
- (3) 知的障害についてどうとらえているか、これまでの体験や考えを事前に出してもらってみたい。
- (4) 園外の活動を通じて、地域とのかかわりを体験してもらいたい。
- (5) いろんな障害があることをもう少し詳しく説明してみたい。
- (6) 事前に本人の目標や学習目的を把握するようにしたい。

ポイント4 参考になったページは…？

小冊子 12 頁	「福祉の仕事の魅力を伝えるための資料例」	⇒18.7%	←障害 22.0%
小冊子 6 頁	「中学生の学びのポイントは？」	⇒14.6%	←高齢 17.9%
小冊子 4 頁	「職場体験の3つのステージを活かして…」	⇒13.1%	
小冊子 8 頁	「現場職員の生の声で『職業の価値観』を…」	⇒13.1%	←保育 18.6%
小冊子 10 頁	「福祉施設ならではの体験のポイントは？」	⇒11.6%	
小冊子 22 頁	「福祉職場で働き続ける 10 の魅力」	⇒11.6%	

参考になった点（主な回答）

- (1)体験の前に思っていたことが体験後に変化したことで「気づき」になる。
- (2)教えるというよりも、主体的に学ぶ、本人の考えを引き出すのがよい。
- (3)中学生に対して魅力を言語化することが、自分たちの学びにもなる
- (4)キャリア教育の流れ、中学生がどのようなことを学びたいかがわかった。
- (5)中学生の学びのポイントと職員の関わりのポイントを分けて整理している。
- (6)現場の職員の声が具体的に伝えられる。
- (7)資料を準備して受け入れることで、受け身でなくなる。

ポイント5 どう活用したい…？

活用したいページ（主な回答）

- (1)修了証をぜひ使ってみたい。修了証を通じてほめるところを見つけたい。
- (2)オリエンテーションと振り返りで活用したい。
- (3)体験前後の変化を具体化する。「この仕事はどんな仕事ですか？」を使い事前に考えを把握し、事後の変化を言語化してその違いで明確にする。
- (4)中学生の考えや行動が肯定される体験を作っていきたい。
- (5)中学生との懇談にこのようなツールがあると、話がふくらみやすい。
- (6)資料を使うことで言語化がしやすくなる。
- (7)体験初日に体験期間中に関心をもって気づこうとするものが何かを知って関われる。
- (8)希望の職種や資格が明確になっていてめざしやすい。
- (9)フォーマットを使いながら各施設独自のものを用意できるとよい。

ポイント6 さらに、どんなものがほしい…？

冊子の改善案（主な回答）

- (1) パソコンやプロジェクターで使えるとよい。
- (2) 職員の感動体験やよかったこと、やりがい等がもっと多くあるとよい。
- (3)多くを学ばせることは短い期間に難しい。何かにしぼった伝え方ができるとよい。
- (4)障害児施設が入っていない。
- (5)社会的養育、保育、介護は分けて考えた方がよい。
- (6)中学生向けの施設の種類の、あまりにも種類が多いとかえってイメージがしにくいのでは。
- (7)文字よりも図表を多くした方がよい。
- (8)職場体験だけでなく、夏体験ボランティアでも活用できないか。
- (9)働いていて大変なことにも触れるべき。

こんな取組み、資料があれば…（主な回答）

- (1)障害の中でも特に知的障害の情報が見える化されていない。
- (2)指導担当者向けに数時間程度の研修があるとよい。
- (3)映像があると伝わりやすい。
- (4)現場の写真があるとよい。
- (5)保護者向けに掲示できるようなもの。
- (6)学校の取組みがもう少し見える資料があるとよい。
- (7)他の事業所では、どのような受入れプログラムを用意しているかを知りたい。
- (8)そもそもなぜ、福祉が必要なのか。福祉とは何かを考えられるものがほしい。